

平成26年度 大牟田市居住支援協議会 事業報告

事務局(社協と市・建築住宅課)を中心に構成団体より協力を得て、①空き家のデータベース活用(住まいの情報検索システムの構築・空き家情報の収集)、②周知・啓発活動、③モデル事業の実施及び新たな空き家活用方法の探究を行った。

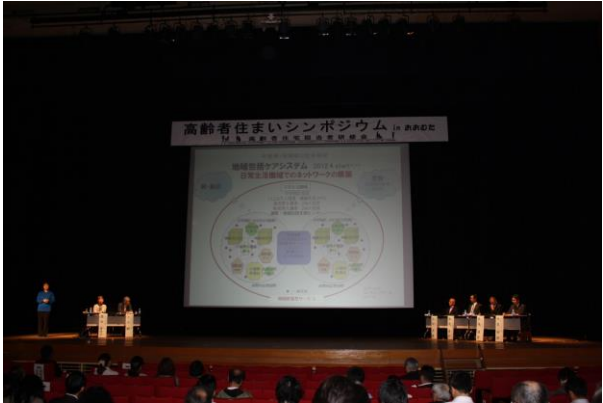
【年間実績表】

取組内容	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会議	● 総会		■ コアメンバー会議		■ コアメンバー会議	■ コアメンバー会議			■ コアメンバー会議	■ コアメンバー会議	● 全体会議 研修会
空き家データベース活用		● 無料相談会		■ 空き家募集 チラシ作成	● 無料相談会				● 無料相談会		
周知啓発活動					● シンポジウム 開催						■ パンフレット 作成
モデル事業実施(サロン田崎)	←→ 所有者との協議	←→ 空き家改修				←→ 利用について協議			● 開所 イベント	←→ サロン開催	
調査研究 活用検討							←→ 入居保証支援実態・ニーズ調査委託			● ワークショップ 開催	

① 空き家データベース活用(検索方法及び検索しやすい形の検討)

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住まいの情報検索システムの構築及び検証 (検索項目の内容と検索しやすいシステムの構築を目的に検討及び改修を実施。空き家物件及び居宅系福祉施設の情報を随時掲載。) 無料相談会の実施 (日時:①平成26年7月24日(木) 13:00～16:00 ②平成26年10月24日(金) ※シンポジウムと同日開催 ③平成27年2月8日(日) 10:00～13:00 会場:総合福祉センター(大会議室) (②のみ大牟田文化会館) 相談件数:①14件・②1件・③11件 相談者の声 ・少し、私の方の考えが煮詰まってなくて、申し訳ありませんでした。 ・対応は良かったのですが、希望通りにはなかなか... ・持家の法律のことも知ることができて良かったと思いました。) 空き家情報の収集 (空き家情報を募集するポスター・チラシを作成し、市内の公共施設や関係機関等に掲示及び配布) 	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住まいの情報検索システム(住まいナビ「住みよかネット」)への物件登録に繋がった。 (現在、空き家8件、居宅系の高齢者施設67件、登録済) 
--	--

② 周知・啓発活動

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> フェイスブック及びホームページの更新(随時) シンポジウムの開催 (日時:平成26年10月24日(金) 9:30～16:00 会場:大牟田文化会館(大ホール) テーマ:みらい都市・大牟田から2025年モデルを発信する ～住宅と福祉の連携による地域包括ケアの推進を目指して～ 参加者:500名 (一般市民、行政、福祉・不動産関係者等) パンフレット作成(3月) 	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> フェイスブックやホームページによる情報発信を行うことにより、市民からの相談が増えた。また、協議会の活動に関するインタビュー調査等を受けた。 
--	--

③住まい方提案モデル事業の実施及び新たな空き家活用方法の探究

(概要)

- モデル事業の実施
- 入居保証支援実態・ニーズ調査の実施
- ワークショップ開催

日時:平成27年2月22日(日)

13:00~17:00

会場:大牟田市労働福祉会館(中ホール)

テーマ:産官学で連携し、空き家を活用した
地域とつながった暮らしを考える。

参加者:60名

(事務局、有明高専、みさき病院等)

(成果)

- 所有者から物件提供を受けた空き家を使い、地域の交流サロンとしてモデル事業を実施した。
- 住宅確保要配慮者が保証人不在の状態に住宅を探している実態や、所有者が保証人に入居者の緊急時の対応を求めるといった所有者のニーズが見えてきた。
- 世代間交流による地域拠点形成や、世代を超えた交流の提案を行った。

